

(社) 日本オリエンテーリング協会

〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内

TEL03-3467-4548 FAX03-3467-4549 Email orienteering@japan-sports.or.jp

公認大会

2009年

- ・ 下宇坂大会 10月18日 福井
- ・ パーク0ツア関西 滋賀大会 10月25日
- ・ 全日本スプリント大会 10月31日 新潟
- ・ 平成21年度全日本リレー0大会 11月1日 新潟
- ・ 矢板大会 11月22、23日 栃木
- ・ 第51回中日東海ブロック大会 11月23日 三重
- ・ パーク0ツア関西兵庫大会 12月20日 兵庫

2010年

- ・ 第2回アジア選手権大会 スプリント(5月1日岐阜)、ミドル(5月2日岐阜)、ロング(兼平成21年度全日本大会・5月4日愛知)、リレー(5月5日愛知)

常設コース

●ネットプリントサービス

6月12日から神奈川県「横浜金沢」「秦野弘法山」、8月11日から埼玉県「越生梅林」の地図がコンビニのネットプリントで入手できるようになりました。

●7月30日から休止していた埼玉県「おごせ休暇センター」は「越生梅林」と改称して8月11日から再開しました。また神奈川県「藤野園芸ランド」は再開準備中です。

●埼玉県の「野上」コースの3番と「岩根」コースの4番がポストを消失しました。コースを回る際には飛ばして進んでください。

普及のための支援

●普及・発展のための方策に財政的支援

様々なバリエーションが生まれ、またアウトドアからの再注目も少しずつ復活するようになったオリエンテーリングだが、まだまだ普及という面では十分ではない。そこで(社)日本オリエンテーリング協会では、事業基金を活用した普及・発展のための事業への財政的支援を広く行うことにした。支援の総額は年額約50万円。応募の合った事業から支援の目的にかなうもの何件かに対して概ね上限20万円の助成を行う。

期待している事業は、

- ①新しい発想に基づく普及・発展方策の試行的展開
- ②野外活動施設周辺や大規模公園など、今後の利用が見込まれる場所での地図作成とそれによるイベントの開催。
- ③地域がイベント開催のノウハウを吸収することができるイベントの開催(ロゲイニングや読図講習会など一般の参加を促す可能性の高いもの)。
- ④普及策・地図作成や大会運営その他の研修会(インストラクター養成を含む)の開催で、概ね10名以上の参加者が得られるもの。
- ⑤オリエンテーリングの普及につながる一般向け講習会で概ね10名以上の参加者を得られるもの

といった事業である。

助成申請の主体は各会員(都道府県協会)であるが、主管は地域クラブ等でも問題ない。十分な額とは言えないが、これまで資金面で問題があつてできなかった普及・発展のための活動などにぜひ役立てていただきたい。申請方法など詳しいことは、9月上旬をめどに各都道府県協会宛に送付するとともにJOAのウェブにも掲載する。

●魅力ある大会に!

競技規則の充実や、地図、コース等の作成技術の向上によって、日本のオリエンテーリングは競技の質という点では、世界標準に達したと言える。その反面、初級者・初心者にとって魅力のある場になっているだろうか?普及を考える時、大会をより魅力のある場にする工夫が必要なのではないだろうか。ではどうやって?ボランティアベースのオリエンテーリング大会運営では、分かってはいてもなかなかそこまで余力がない。そこで、JOAでは「より魅力ある大会開催」のためのヒント・指針をまとめることにした。

もちろん、一般からのアイデアも積極的に取り入れていきたい。「こうすればもっと初心者でも楽しめる」「こうしてリピーターを増やした」そんなアイデアがあれば、是非、お寄せいただきたい。そして、再び活気あるオリエンテーリング会場を生み出していきましょう。



オリエンテーリングを学ぶ学童